

令和 9 年度 教科専門試験 高等学校（英語）解答例（4 枚のうち 1）

受験校種	高	教科科目	英語	受験番号						得点	
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--	----	--

I

1	2	3	4
エ	イ	ア	エ

(4 点 × 4)

II

1	2	3	4
イ	エ	イ	イ

(4 点 × 4)

III

1	2	3	4
イ	ウ	エ	エ

(5 点 × 4)

IV

	記号	修正
1	ウ	for
2	ア	when
3	ウ	means
4	ウ	belonged
5	ア	much

(4 点 × 5)

令和 9 年度 教科専門試験 高等学校（英語）解答例（4 枚のうち 2）

受験校種	高	教科科目	英語	受験番号						得点	
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--	----	--

V

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
カ	ア	イ	エ	キ

(4 点 × 5)

VI

1	2	3	4
ア	イ	ウ	ウ

(5 点 × 4)

VII

1	① visual	② detect
2	Their retinas become more efficient at interpreting visual information.	
3	エ	
4	イ	
5	ア	

(5 点 × 6)

令和 9 年度 教科専門試験 高等学校（英語）解答例（4 枚のうち 3）

受 験 校 種	高	教 科 科 目	英 語	受 験 番 号						得 点	
------------------	---	------------------	--------	------------------	--	--	--	--	--	--------	--

VIII

In a mixed-level English class, I would give the same topic but I would prepare tasks at different levels. This could enable each student to study at a suitable level. For example, strong students could write longer essays, while weaker students could focus on simple sentences. I would make sure that all of the students feel motivated and that the tasks are not too different in difficulty. Second, I would use pair and group work frequently. I would put students with different levels together so that stronger students can help weaker students, and they can learn from each other. However, I should be careful that stronger students do not do all the work and weaker students do not just listen. (120 words)

(2 8 点)

受験校種	高	教科科目	英語	受験番号						得点	
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--	----	--

IX

1

(A) 基本的

(B) 多様

(C) 目的や場面、状況

(D) 表現

(E) 引き出し

(2 点 × 5)

2

言語活動の題材を取り上げるにあたっては、生徒の発達段階や知的好奇心を踏まえ、言語活動への積極的参加を促すことができるよう工夫する必要がある。その際、知っている知識や情報に基づき、自分の考えや気持ちなどを、実際に書いたり話したりすることにより、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが大切である。

例えば、地理の授業で環境問題について学習した後に、「自分たちにできる環境保護について英語で発表する」活動を設定することが考えられる。この場合、生徒は既習の地理の知識を基にしながら、英語の語彙や文法を活用して、伝えたい内容を伴った発表活動が可能になる。さらに、発表活動の後のやりとりや討論へつなげるなど、段階的な活動を設定することで、生徒の表現活動を活性化させることも可能となる。このような教科横断的な活動を通して、生徒は他教科の内容理解を深めるとともに、英語による発信力を高めることができる。

(20 点)